

X O X O (ハグ&キス、ハグ&キス)

対象項目

コミュニケーション、学力、認知、感覚運動、社会性、演奏/レクリエーション

スキル領域

聴覚認知、言語受容、非言語コミュニケーション、算数、音楽、その他、シークエンシング、記憶力、集中力、衝動のコントロール、自己評価、創造力/即興能力、演奏

目標

参加者は、

1. 抽象的なシンボルがドラムをどう叩くかを表すのに使われていることを理解する。
2. あるリズムやリズムのフレーズを聞いてリピートする。
3. 即興することに取り組み始める。
4. シンボルとその意味の関連づけができる。

目標

参加者は、

1. X と O という抽象的なシンボルを使って異なるリズムパターンを作ることができることを理解する。
2. X と O を使って自分オリジナルのリズムの作り方がわかる。
3. 他の人と一緒に連続したシンボルを読み取って演奏する。
4. X と O の記譜を見て実際に演奏する。
5. 指示に従って、連続すること、抽象的な思考力、想像力を向上する。

ドラムテーブル アクティビティ
シリーズ – レッスンプラン
発達障害及び自閉症の生徒対象

レッスン 9



教材

- レモ CST ドラムテーブル 40”
マレット 1 人 2 本ずつ
- ※レモ CST ドラムテーブル 30”、
22”でも可。その場合、人数の多い
グループでは交代して叩くよ
うにする。
- ドラムテーブルアクティビテ
ィシリーズ
Video レッスン 9
[comfortsoundtechnology.com/le
ssons](http://comfortsoundtechnology.com/lessons) (ウェブ無料公開)

音楽療法

公認の音楽療法プログラムを修了した信頼の置けるプロが療法の一環として関わり、個々に設定された目標を達成するために臨床的に証明された音楽の使用を実施すること。

ご自身が認定音楽療法士であるか、認定音楽療法士と協力して行う場合、付属資料「音楽療法ガイドライン」を参考いただき、対象者へのより深い機会の提供にお役立てください。

準備

参加者はドラムを囲み輪になり、動くのに適度な間隔をとって座るか立ちます。必要な教材は全てそろえておきましょう。時間は15分、必要な場合はそれ以上とって行います。

レッスン

これから何をするか説明をします。説明はゆっくり簡潔にします。実際にやって見せ、その後に理解できているかきいて確認します。

1. みんなで演奏する時には、他の人の音をよく聞くことが重要であることを説明します。ひとがやったことを真似したり、繰り返す方法について、参加者の能力に応じて分かりやすく伝えます。言葉によるコミュニケーションが限られているグループでは、言葉を使わず見本を見せるシンプルな方法がよいでしょう。ホワイトボードに4×4マスの表を書くところからはじめますが、ホワイトボードがなければ黒板や大きなサイズの紙で代用できます。
2. 表1を書きます。Xは1回ドラムを叩く、0は叩かないということを説明します。4分音符で1、2、3、4とカウントしながらXでどう叩くかを見せます。ここではいかに正確にリズムを再現するかが重要なのではなく、他の人の音を聞いて、シンボルと叩く、叩かないことを関連づけることができ、それに従った行動ができることが目的です。
3. ビートによってXのシンボルで叩けるようになったところで、Xを消して代わりにOを入れます。Oのマスでは叩かないことを説明し、実際にやって見せます。その後、参加者をリードして一緒にOのついたボックスをやってみましょう。
4. 次に表2を使ってリズム回しを数回やりましょう。次に参加者に自分が作ったリズムで回すようリードを任せます。ホワイトボードの記譜を参考になるべくシンプルなパターン、フレーズにするように勧めます。

応用編

1. 記譜や読譜の基本を学ぶのに表を使うことができます。例えば表3を使って、全音符、2分音符、4分音符、8分音符をやってみせます。上手にできるようになったら、XとOを通常の音符や休止符に置き換えます。音価（音の長さ）を、音符や休止符でやってみましょう。
2. 演奏する曲を作ったり、他のレッスンの指導やフレーズや曲を教えるときも、XとOの表が役立ちます。
3. ドラムロール、左手で叩く、音量の大小、太鼓の真ん中を叩く・サイドを叩く、マレットを打ち鳴らすなど、あなたもしくは参加者で他のシンボルもつくってみましょう。

参考情報

全米音楽療法協会

<http://www.musictherapy.org/>

The ComfortSound

<http://www.thecomfortsound.com/>

REMO, Inc.

<http://remo.com/>

著作権

本印刷物の著作権は以下の個人、会社に帰属します。

内容の一部、または全部を無断転載することを固く禁じます。

著者：ジョージ・トンプソン

George Thompson

ミュージック&パフォーミング
アーツディレクター (TERI, Inc)

協力：テリー・ウィナー

Terri Wiener

MT-BC 米国認定音楽療法士

音楽療法士 (TERI, Inc)

Remo, Inc.

表 1			
1	2	3	4
X	X	X	X
X	X	X	X
X	X	X	X
X	X	X	X

表 2			
1	2	3	4
X	X	X	X
X	0	X	X
X	0	X	0
X	0	0	X

表 3			
1	2	3	4
X	0	0	0
X	0	X	0
X	X	X	X
X	X	X	X

本印刷物の著作権は以下の個人と会社に帰属します。内容の一部または全部を無断転載することを固く禁じます。

著者：ジョージ・トンプソン

George Thompson, ミュージック&パフォーミングアーツディレクター (TERI, Inc)

協力：テリー・ウィナー

Terri Wiener, MT-BC 米国認定音楽療法士 音楽療法士 (TERI, Inc)

Remo, Inc.



翻訳 《レモワールドパーカッション総輸入発売元》

株式会社 ヤマハミュージックジャパン

●お問い合わせ：楽器営業本部 〒108-8568 東京都港区高輪 2-17-11 TEL. 03-5488-6705

2016年11月制作

